

大阪 PCB 廃棄物処理事業だより (No.82)

◎消火訓練等の実施について

令和7年5月21日に、二酸化炭素消火器等の取扱い、担架組立・搬送の体験を重視した2種類の実技訓練を行いました。

二酸化炭素消火器の取扱い訓練では、二酸化炭素消火器の操作方法の理解や実際の噴射を体感することなどを目的に行いました。

担架組立・搬送では、担架の組立方法の理解をはじめ、救助者一人一人が互いに声を掛け、傷病者を揺らさないように搬送する訓練を実施しました。

万が一の事態に備え、所員が緊急時に、適切、かつ、速やかに行動できるよう、今後も引き続き訓練を実施してまいります。



二酸化炭素消火器噴射訓練



担架組立・搬送訓練

◎解体撤去工事における事業所員による安全パトロールの実施について

当事業所では昨年秋以降本格的になってきた不要設備の先行解体撤去工事において、「解体撤去実施マニュアル」等に即した工事方法になっているかの確認と併せて、作業内容に不安全な部分がないか、安全対策課員による安全パトロールを実施することにより監視しています。

作業員の健康を脅かし、環境保全上問題が生じる恐れがある場合等には、その場で工事受託会社の現場代理人に改善を求めたり、もしくは後日のミーティングにおいて指導することにより、事故・トラブルを未然に防止し、工事がより適切に進められるよう努めています。

いくつかの先行解体撤去工事が並行して行われる中、工事が安全に進められるよう進行する工事の作業内容を十分考慮しながら、適切な安全パトロールとなるよう心掛けています。



◎安全教育について

当事業所では、健康管理や労働衛生等をテーマとする安全教育を、運転会社の社員も参加し、定期的を開催しています。

令和7年6月度は、「災害時の健康管理について」をテーマに開催し、此花区保健福祉課の保健師の方から、災害時の健康リスクとして、特に感染症、エコノミークラス症候群、高血圧に関して、発生の要因や予防として注意すべき点についてご講演をいただきました。

日ごろから、災害時に備えてこれらの注意点を理解するとともに体調を管理し、いざというときに健康を維持することの重要性を改めて感じさせられました。



◎施設見学の状況について

当施設への見学者は、操業開始以降、令和7年6月30日現在で11,725名（1,508団体）となっています。

令和7年5月27日には、東京都内の企業の方4名が見学に来られました。



<お知らせ>

当社では毎年、事業活動に係る環境配慮等の状況を取りまとめた「環境報告書」を公表しています。

詳しくは、JESCO ホームページをご覧ください。

<https://www.jesconet.co.jp/company/environment/index.html#anchor03>



洲男（しまお）



☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

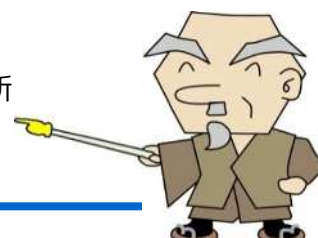
弊社のホームページをご参照下さい。また、予約見学時は総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・西棟1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで） 舞子（まいこ）
- ・予約見学・西棟1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

【問い合わせ】 中間貯蔵・環境安全事業（株）大阪PCB処理事業所
TEL：06-6468-0575
ホームページ：<https://www.jesconet.co.jp>



【発 行】 中間貯蔵・環境安全事業（株） 大阪PCB処理事業所
解体・撤去プロジェクトチーム／安全対策課／総務課
06-6468-0575



べん蔵（べんそう）